

『高校生ビブリオバトル愛知県大会2022』で紹介された本

※本の紹介コメントは、発表者のみなさんが考えてくれました。

番号	本のタイトル	著者名	紹介コメント
1	噂	萩原 浩	広告会社が香水を売るために広めた噂が、殺人事件に発展?!衝撃的すぎるラスト一行や、現代に生きる人たちにこそ感じてほしい噂の恐ろしさ。背筋が凍る萩原流のサイコ・サスペンスを体験せよ!!
2	N	道尾 秀介	どの章から読んでも話が繋がってしまう短編小説など、今まであったらどうか。上下逆さに文字が書かれた本など今まであったらどうか。私たちの常識を覆す本がここにある。
3	かがみの孤城	辻村 深月	辻村深月さんの代表作の1つである『かがみの孤城』 様々な人物や、多くの伏線。ページをめくる手が止まらない!? 今の中高生はもちろん、大人もおすすめです。ぜひ読んでみてください。
4	「キモさ」の解剖室	春日 武彦	キモさ、それは嫌悪、得体の知れないことへの戸惑い。 本書では、著者がキモいと感じた話をふんだんに使い、「キモっ」と感じるときの心のはたらきを“解剖”するかのよう に精査している。
5	嫌われる勇氣 自己啓発の源流「アドラー」の教え	古賀 史健 岸見 一郎	皆さん、突然ですが困っていませんか? 私が紹介する「嫌われる勇氣」は、「すべての悩みの原因は人間関係にある」という教えのもと、皆さんをアドラー心 理学の世界へと引きこんでくれるでしょう
6	光合成理論	奈瀬 セナ	高3の夏、悩みを抱えた女子高生、ヨーコは難聴の男子高生、ミズキとの出会いをきっかけに心が少しずつ変化して いく。終始優しく切ない物語に心動かされます。あなたもきっとヨーコの悩みに共感するはず。
7	孤島の鬼	江戸川 乱歩	殺された恋人の復讐に燃える主人公が、犯人を捜しつつ事件に巻き込まれていく推理小説だと思って読み進め ると、一驚します。恋人の家系図と協力者を名乗る友人のつながり、犯人の趣味など奇想天外な事実が癖になりま す。
8	最長片道切符の旅	宮脇 俊三	起点・北海道広尾駅。終点・鹿児島県枕崎駅。最短距離2,764.2キロ。この気が遠くなるような距離を、蜿蜒(えん えん)13,319.4キロに敷衍(ふえん)した日本で一番遠回りなきっぷを使い、正味34日で乗り通す。
9	さまよう刃	東野 圭吾	正義とは何か。復讐は良いのか。誰が犯人を裁くのか。少年法のあり方など今後考えていく必要はあるが、日常で は考えることのないテーマを考えるキッカケを与えてくれます。
10	10代に語る平成史	後藤 謙次	著者が平成という時代をジャーナリストとしての経験をもとに語る。 今も討論のお題となる問題を、平成のはじめから復習していくため、社会という教科が苦手でも分かりやすく、納得で きる一冊。
11	新編 悪魔の辞典	ビアス	著者ビアスによる様々な言葉の意味や概念について皮肉や風刺、批判を混ぜながら再定義していくひねくれた辞 典。痛快なブラックユーモアあふれる読むと思わずニヤリと悪魔のような悪い微笑を浮かべてしまうこと間違いなしの 作品です。
12	線は、僕を描く	砥上 裕將	「僕は何にもなれないかも」と将来に対して漠然とした不安を抱える主人公。けれど、偶然出会った「水墨画」とそれを 通した人との繋がりは、彼の人生を変えていく。 「自分」とは、そして「生きる意味」とは何なのか――。

『高校生ビブリオバトル愛知県大会2022』で紹介された本

※本の紹介コメントは、発表者のみなさんが考えてくれました。

番号	本のタイトル	著者名	紹介コメント
13	店長がバカすぎて	早見 和真	「バカすぎる」、空回りばかりの店長と有能な契約社員、そして彼らの周りが織りなす笑いの連続のお仕事小説。書店の実情が多分に盛り込まれており、読書を愛するすべての人に読んでほしい一冊です。
14	ハッピーアイスクリーム	加藤 千恵	あの日、言えなかった言葉。帰り道に見た夕日。口には出さないけれど、大切にしている記憶の数々。17歳の瑞々しい言葉を通して私たち高校生の感情が甘く切なく共鳴します。
15	星を掬う	町田 そのこ	小学校1年の夏休み、母と二人で旅をした。その後、私は、母に捨てられた。ラジオ番組の賞金ほしさに、ある夏の思い出を投稿した千鶴。それを聞いて連絡してきたのは、自分を捨てた母の娘だと名乗る恵真だった。母と再会し同居することになった千鶴だが、記憶と全く違う母の姿を見ることになって――。
16	MINECRAFT ～はじまりの島～	マックス・ブルックス	突然、全てがブロックでできた世界に出現した主人公。ここはどこなのか、自分が誰なのかもわからずモンスターに襲われていく。恐れることなく進み続けろ！ あきらめなければ、道はきっと開くはず！ 勇気と冒険の物語。
17	魔女の家 エレンの日記	ふみー	悪魔に誘われ、魔女となり、「魔女の家」で殺戮を繰り返すエレンとそんな魔女の家に迷い込んだヴィオラ。ヴィオラによってエレンは救われることができるのか。ホラー小説ですが、深く心を揺さぶる一冊です。
18	もういちど生まれる	朝井 リョウ	特別な人を見ていると、私も特別な何かになれると思ってしまう。もちろん夢ばかり見るほど、子どもではないが、身を引いて普通を目指す勇気もない。多様性が認められる世で自分をどう確立するか考えさせられた。
19	夢をかなえるゾウ	水野 敬也	夢を諦めてしまったサラリーマンと頭のイカれた神様のガネーシャが繰り広げる六割笑って四割ためになるお話です。台所でトイレをしようとしたら、二億円当たった宝くじを燃やしたりする神様が夢を叶えます。
20	予想どおりに不合理ー 行動経済学が明かす 「あなたがそれを選ぶわけ」	ダン・アリエリー	「勉強も仕事もダイエットもいつも先延ばし」「1万円のメロンも2万円のメロンを見た後なら安く感じる」あなたは時に「おかしい行動」をとっている！ この本で「おかしい行動の法則」を楽しく学ぼう！
21	四日間の奇蹟	朝倉 卓弥	この本とは小学校5年生の時に出会いましたが当時の私に命の尊さといくら思いえがいても確立された未来はわからないことを学びました。
22	流浪の月	凧良 ゆう	この本を読むことで、考えさせられることがあります。私達が知っている事件は、本当に事実なのか。また、世間が思っていることと、当事者の感じていることは事実なのか。そうしたことについて教えてくれる本です。
23	わたしのマトカ	片桐 はいり	「マトカ」とはフィンランド語で「旅」のこと。俳優片桐はいりさんの映画撮影でのフィンランド滞在記です。抱腹絶倒のエピソード、そして作者が出会った「旅の女神」とは？ ユーモア、愛情、人情満載の福袋型エッセイ！